

《調査概要》

回答期間: 令和7年1月16日～令和7年1月31日  
 回答方法: e-KANAGAWAにて回答  
 回答対象: 市民協働研修(管理職、中堅職員)の受講者  
 対象者数: 24人 回答者数: 18人 回答率: 約75%

n = 18

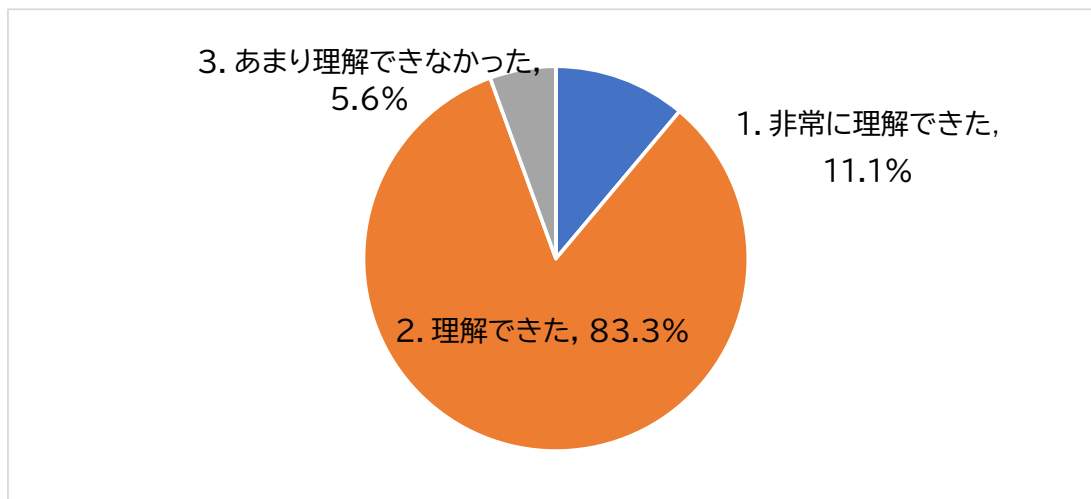
※問7 自由記述のみ。

【問1】【1-1】あなたの役職を教えてください。

|            |   |       |
|------------|---|-------|
| 1. 課長      | 9 | 50.0% |
| 2. 係長      | 9 | 50.0% |
| 3. 主事・事務職員 | 0 | 0.0%  |

【問2】今回の研修を踏まえて、協働について理解が深まりましたか。

|                |    |       |
|----------------|----|-------|
| 1. 非常に理解できた    | 2  | 11.1% |
| 2. 理解できた       | 15 | 83.3% |
| 3. あまり理解できなかった | 1  | 5.6%  |
| 4. 理解できなかった    | 0  | 0.0%  |



【非常に理解できた】

・他課と相談してプロジェクトを立てる過程で、考えながら学ぶことができた。  
 講師の先生の声掛けも温かで、充実した時間になった。  
 ・普段の業務において協働を意識することは少なかったが、市役所の今の業務・今後の業務における重要性を理解することが出来た。これからは学んだことを業務に活かしていきたい。

**【理解できた】**

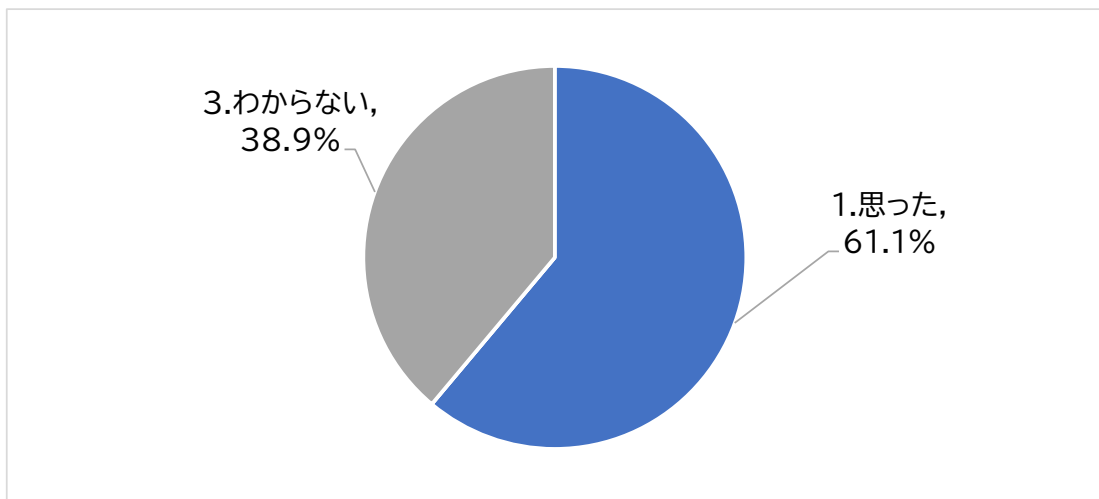
- ・大変勉強になりました。協働の具体的な事例を教えていただけると、より理解が深まるようにも思いました。
- ・研修を終えて、これまで携わった業務を振り返ると当時は協働という感覚が無かったものの、急場しのぎで実施した事業が市民団体との協働であったと思い起こすものがありました。行政側のノウハウだけでは実施できないと思われていたことが市民団体の熱意と実績、組織力が事業の推進力となったことを思い出しました。今回の研修と以前の経験を今後の事業に生かして取り組みたいと思います。
- ・普段の自分の業務と協働とのかかわりがなかなか理解することができなかったが、研修に参加し他課の方と交流を持つことでまた、新たな価値観を知り、市役所業務のことも理解できたような気がしました。
- ・協働に必要性についてはよく理解できました。

**【あまり理解できなかった】**

- ・協働に対する理解を深めるためにも、座学の部分をもう少し充実していただきたかった

【問3】 今回の研修を受けて、市の事業実施の手段として協働が効果的だと思いましたか

|         |    |       |
|---------|----|-------|
| 1.思った   | 11 | 61.1% |
| 2.思わない  | 0  | 0.0%  |
| 3.わからない | 7  | 38.9% |



**【思った】**

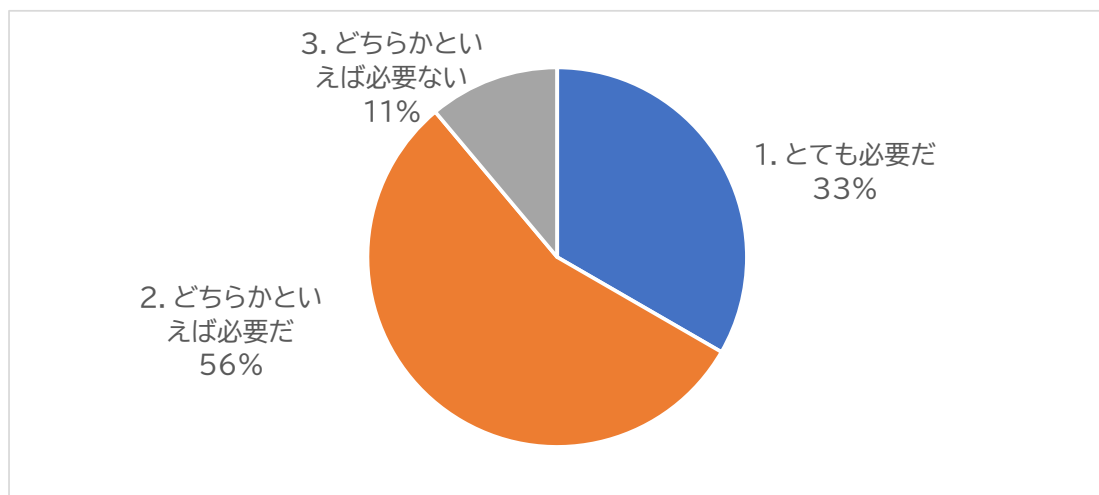
- ・実際の場面で、協働したいという目的意識があったので、より具体化して考えることができた。
- ・民間等の活動を生かして、行政として実施できる範囲を超えて、より良い事業を実現できる可能性があるため。
- ・各種研修において、日常の業務では知り得ない知識を得ることができとても有用だと思う。研修を企画する部署は大変だと思いますが今後も宜しくお願いします。

**【わからない】**

- ・もっと全国的かつ多方面な、効果的事例の紹介があるとイメージしやすいかと思った。
- ・効果が低い場合、協働することが目的になってしまうのではないかと思ってしまった。
- ・協働を推進した結果、場合によっては「市役所の職員、今の3分の1でいいんじゃない?」「税金、今の半額で十分なのでは?」などの意見も出てくるのでは?と感じました。

**【問4】協働の必要性の度合いについて**

|                 |    |       |
|-----------------|----|-------|
| 1. とても必要だ       | 6  | 33.3% |
| 2. どちらかといえば必要だ  | 10 | 55.6% |
| 3. どちらかといえば必要ない | 2  | 11.1% |
| 4. 必要ない         | 0  | 0.0%  |

**【とても必要だ】**

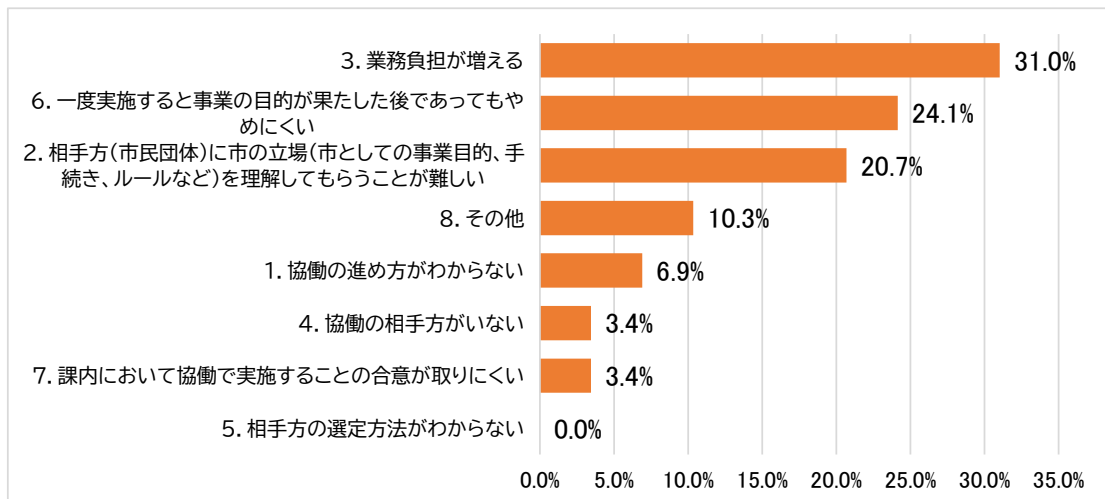
- ・市民やNPO、民間企業など幅広い方々と協働することにより、市民のための市役所の業務は効果的かつ有機的に発展していけると感じた。

**【どちらかといえば必要だ】**

- ・市役所のマンパワーも減っているのです。

【問5】協働を実施するにあたり課題になることは何ですか(複数選択可)

|                                                      |   |       |
|------------------------------------------------------|---|-------|
| 3. 業務負担が増える                                          | 9 | 31.0% |
| 6. 一度実施すると事業の目的が果たした後であってもやめにくい                      | 7 | 24.1% |
| 2. 相手方(市民団体)に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが難しい | 6 | 20.7% |
| 8. その他                                               | 3 | 10.3% |
| 1. 協働の進め方がわからない                                      | 2 | 6.9%  |
| 4. 協働の相手方がいない                                        | 1 | 3.4%  |
| 7. 課内において協働で実施することの合意が取りにくい                          | 1 | 3.4%  |
| 5. 相手方の選定方法がわからない                                    | 0 | 0.0%  |



【業務負担が増える】

- ・現実問題として職員の業務負担に余裕がない。
- ・現在の状況でも人手不足である。
- ・限られた職員数の中で、初動に手間がかかるのは厳しい印象があります
- ・調整に時間を要するイメージ

【一度実施すると事業の目的が果たした後であってもやめにくい】

- ・協働の相手方と市側の意向が違う場合でも相手方の意向を尊重せざるを得ないこと。
- ・最大の理由

【相手方に市の立場(市としての事業目的、手続き、ルールなど)を理解してもらうことが困難】

- ・それぞれの立場があり相互理解が難しい点がある。
- ・市民団体の目的に対して、どのように公平性が担保できるかが課題と考える。

【その他】

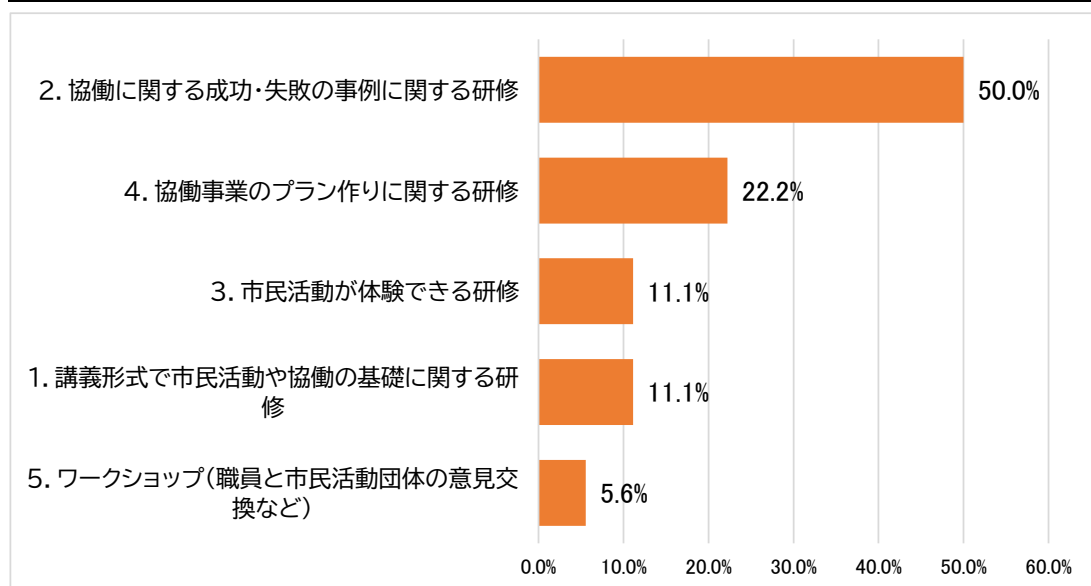
- ・業務の円滑な遂行と協働とのバランス。
- ・双方にわかりやすいメリットがないと協働が進みにくい。

【課内において協働で実施することの合意が取りにくい】

- ・市民等との調整が大変であるという認識がベースにあると思います。

【問6】 今後、どのような研修があれば協働の推進に役立つと思いますか。受けてみたい研修内容を選択してください。

|                              |   |       |
|------------------------------|---|-------|
| 2. 協働に関する成功・失敗の事例に関する研修      | 9 | 50.0% |
| 4. 協働事業のプラン作りに関する研修          | 4 | 22.2% |
| 3. 市民活動が体験できる研修              | 2 | 11.1% |
| 1. 講義形式で市民活動や協働の基礎に関する研修     | 2 | 11.1% |
| 5. ワークショップ(職員と市民活動団体の意見交換など) | 1 | 5.6%  |
| 6. その他                       | 0 | 0.0%  |



【問7】 市民活動や協働の推進にかかる施策についてご提案やご意見等がございましたら、ご記入ください

【自由記述】

協働を進めることで、意見を取りまとめることが難しいことも多くなると考える職員が多いのかなという印象を持っています。

大変有意義な研修でした。有難うございました。